

開講学科	基礎教育センター		前橋工科大学 シラバス			
科目名	文学	標準対象年次	選択／必修		科目コード	
		3年次	選択		11000301	
担当教員	今井 勇	単位数	学期	曜日	時限	
		2単位	前期	月曜日	2時限	
授業の教育目的・目標	広汎な知識体系への関心を喚起し、幅広い教養と豊かな人間性の涵養を図るとともに、工学の専門教育に必要な基礎的学力、思考力ならびに表現力などを修得させる。					
学科の学習・教育目標との関係	大学生として必要な教養と倫理観を身に付ける。					
キーワード	日本文学 近・現代史 差別 戦争 近代批判					
授業の概要	近・現代日本文学の形成・展開・受容のあり方を作品の内在的な分析を通じて検証し、文学世界が有する「おもしろさ」とともに、批判知としての可能性について理解する。それは、私たちの生きる近・現代日本が内包する様々な問題を浮き彫りにする一方で、時代の変化に応じた豊かな知見を与えてくれるものでもある。劇作や映像作品なども積極的に活用したい。					
授業の計画	第1回：	ガイダンス・科学と文学				
	第2回：	近世から近代へ―「国語」の形成と文学				
	第3回：	夏目漱石と「明治の精神」―日清・日露戦争と文学				
	第4回：	夏目漱石と「明治の精神」―文明批判と「自己本位」				
	第5回：	近代日本文学と差別―島崎藤村『破戒』				
	第6回：	近代日本文学と差別―『破戒』の可能性と課題				
	第7回：	近代日本文学と差別―『さまよへる琉球人』と沖縄				
	第8回：	石川啄木にみる「時代の精神」				
	第9回：	中間課題発表会				
	第10回：	プロレタリア文学の高揚と衰退―『近代思想』から『文芸戦線』へ				
	第11回：	プロレタリア文学の高揚と衰退―「政治と文学」をめぐる				
	第12回：	劇作家・三好十郎とその時代―プロレタリア作家から戦争協力へ				
	第13回：	劇作家・三好十郎とその時代―戦後における反戦・平和文学の確立				
	第14回：	戦後日本文学の展開と課題				
	第15回：	補論・まとめ				
受講条件・関連科目	特にありませんが、文学だけでなく日本近・現代史に関心のある方の受講も歓迎します。					
授業方法	講義をおこないます。必要に応じて映像作品なども使用します。 講義後、出欠確認を兼ねたレスポンスシートの提出を求めます。					
テキスト・参考書	初回ガイダンスの際に参考文献を紹介するとともに、必要に応じてテキストを配布します。					
成績評価	・中間課題（40%） ・期末テスト（40%） ・レスポンスシート（20%）					
履修上の注意	専門的な予備知識は求めませんが、問題意識の高い、学習意欲ある皆さんの受講を期待します。					